

2002年度 満期退学者：	1名
進路：専門的職業従事者（伝道者）	1名
うち、牧師・伝道師	(1名)

（点検・評価の結果）

前期課程における教育・研究指導の効果は、修士学位の取得、就職状況によって測定できていると言える。一方で、このような測定は印象に基づくものになりやすい点を注意する必要がある。

後期課程においては、課程によって学位を取得する学生が出ていないことから、教育・研究指導の成果を測定する方法を導入し、学位取得に向けて指導を徹底させる必要がある。

学会での研究発表や学術誌における論文の執筆に具体的な成果を挙げつつあるが、いまだ学位取得には至っていない。一方ですでに牧師である学生が、リカレントの場として入学してくるケースも多いが、こういった学生に対する成果の測定法については現段階で検討されていない。

（改善の具体的方策）

1. 前期課程は、成果測定のためのより客観的な指標の導入を検討する。
2. 後期課程は、継続的に学位取得へ向けての指導を徹底すると同時に、それに至るまでの研究活動（研究発表や論文執筆）における客観的な評価指標を整備する。
3. リカレントの場としての後期課程在学学生に対する成果の測定法について検討をはじめめる。

### 1.2.3.5 教育の質の向上

【評価項目 6-5-1】 教育改善への組織的な取り組み（教育・研究指導の改善）

- （必須要素） 教員の教育・研究指導方法の改善を促進するための組織的な取り組み状況
- （必須要素） シラバスの作成と活用状況
- （必須要素） 学生による授業評価の活用状況
- （選択要素） 学生満足度調査の導入状況
- （選択要素） 卒業生に対し、在学時の教育内容・方法を評価させる仕組みの導入状況
- （選択要素） 高等教育機関、研究所、企業等の雇用主による卒業生評価の導入状況

<2003年度に設定した目標>

1. FDに関する研修会を、引き続き開催する。
2. シラバスの作成を徹底化し、シラバスに基づく授業運営を行う。
3. 神学部において行われているものと同等の授業評価を、神学研究科においても行う。

（現状の説明）

1. 大学院教務学生委員が中心となり、神学部と合同でFD研修会を行っている。
2. シラバスは作成されている。その内容は、「講義目的」「各回ごとの授業内容」「授業方法」「教科書・参考文献」「成績評価方法・基準」「授業学習等についての具体的な指示

および他の科目との関連」「キーワード」の各項目から構成されている。現在のところ、学生は事務室カウンターにおいてのみ閲覧可能である。

3. 学生による授業評価は実施していない。

(点検・評価の結果)

1. FD研修会は継続的に行われているが、神学部と合同実施である。特に研究科の授業に即した内容につき、議論される機会が不足している。
2. シラバスは作成されているが、授業担当者により内容の充実度がまちまちで、全体としての完成度は高くない。公開方法についても限られている。

(改善の具体的方策)

1. 学部と同様の形態による授業評価を導入し、結果を公表する。FD研修会においては、特に研究科の授業のあり方について議論し、教員間で広く情報を共有する。
2. シラバスは最低限含まれるべき内容について指針を定め、個々の情報を充実させた上で、全体としての完成度を高める。また、ウェブなどでの公開を検討する。

結果として、シラバスによる情報公開－学生の授業評価－担当授業へのフィードバックといったサイクルが効率的にできあがるよう検討する。

### 1.2.3.6 学位授与・課程修了の認定

#### 【評価項目 6-6-1】 学位授与

- (必須要素) 修士・博士の各々の学位の授与状況と学位の授与方針・基準の適切性
- (必須要素) 学位審査の透明性・客観性を高める措置の導入状況とその適切性
- (選択要素) 修士論文に代替できる課題研究に対する学位認定の水準の適切性
- (選択要素) 学位論文審査における当該大学(院)関係者以外の研究者の関与の状況
- (選択要素) 留学生に学位を授与するにあたり、日本語指導等講じられている配慮措置の適切性

#### 【評価項目 6-6-2】 課程修了の認定

- (必須要素) 標準修業年限未満で修了することを認めている大学院における、そうした措置の適切性、妥当性

#### <2003年度に設定した目標>

##### 1. 課程博士(甲号)学位取得の促進

後期課程の修業年限を満了した者について、学則の定める期限内に博士論文が提出できるよう指導する。

##### 2. 編入制度の導入

前期課程および後期課程において2年次編入を行うことを検討し、必要な体制の整備を行う。

(現状の説明)

神学研究科では、現在、博士課程前期課程2年の修業年限を満了し、所定の単位を修得して修士論文の審査に合格した者に修士(神学)学位を、後期課程3年の修業年限を満了